

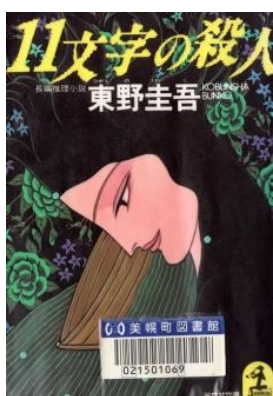
広報オススメ本 11月 テーマ「11」



「未来を、11秒だけ」

青柳 碧人／著 光文社

友達に誘われて行った食事会で知り合った男が詐欺に関わっており、トラブルに巻き込まれた早紀。早紀は危ないところでシェアハウス「FREEDOM TREE」に住むジョージに助けられる。ジョージは、11秒だけ未来が見える特殊な力を持っており…。



「11文字の殺人」

東野 圭吾／著 光文社

付き合い始めたばかりの恋人が殺された女流推理作家の“あたし”。彼との最後のデートで、「誰かが僕の命を狙っているらしいんだ」と話していたことが気になる“あたし”は、編集者の冬子とともに、真相を調べ始める。



「とあるひととき」

花王プラザ／編 平凡社

浅田次郎、吉本ばなな等、14人の人気作家が「朝」、「夕暮れ」、「午後十一時」の3つの時間帯の過ごし方を描いたエッセイ集。エッセイに合わせたカラーの挿絵が情景を思い起こしやすく、各エッセイが5ページ程度なので読みやすい一冊です。